

平成19年12月  
農林水産省

第34回FAO総会への今村農林水産副大臣の出席について  
(結果概要)

1. 今村副大臣出張日程

- 11月20日(火) 国際連合食糧農業機関(FAO)総会出席  
日本政府代表演説、「森林とエネルギー」のハイ  
レベル特別会合における演説、二国間会談
- 11月21日(水) アフリカ諸国閣僚との会合  
FAO事務局長との会談  
(於:イタリア・ローマ)

2. 概要

(1) 第34回FAO総会

今村農林水産副大臣は、11月20日にFAO総会に出席し、以下の内容について演説を行った。

- ① 明年7月の洞爺湖サミットに向けて、我が国は地球温暖化をはじめとした資源・環境対策に積極的に取り組んでいること
- ② FAOの効率的運営のためには、事業の取捨選択と資源の集中が有効であり、予算規模を抑制しつつ改革を推進すべきであること
- ③ 「開発イニシアティブ」の一環として、我が国は南南協力や国際機関との連携の下に途上国の貿易能力強化のための人材育成に取り組んでいること
- ④ 我が国は、「元気なアフリカを目指して」との基本メッセージの下、明年5月「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)」を開催すること
- ⑤ 世界の森林減少対策や漁業資源管理について国際的取組みが必要であること

また、「森林とエネルギー」のハイレベル特別会合にも出席し、演説においては、世界の森林を取り巻く状況と持続可能な森林経営に対する我が国の貢献策などについて述べた。

(2) アフリカ諸国閣僚との会合

11月21日、我が国主催によるアフリカ諸国閣僚との会合を開催し

た（13カ国出席）。会合においては、我が国から以下の内容につき説明し、アフリカ各国の理解を求めた。

- ① 貿易能力向上のための人材育成など「開発イニシアティブ」の下で途上国の視点に立ったきめ細かな包括的支援を実施していること
- ② 明年5月に開催予定の「第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)」へのアフリカ各国首脳等の積極的な参加を期待していること
- ③ WTO交渉への対応等の我が国の取り組みにつき協力願いたいこと。  
アフリカ側出席閣僚からは、これまでの我が国の援助に対し感謝の意が表明され、引き続き支援を期待する旨の発言があった。

(3) 米国（コナー農務長官代行）との会談

- ① FAOの運営・財政状況改善のために両国が協力して取り組んでいくことで一致。
- ② 米国産牛肉に関し、先方から月齢制限撤廃を含め、OIE基準に即した輸入条件の見直しの要請があったのに対し、我が国からは国民の食の安全を大前提に科学的知見に基づき対応していくと発言。

(4) カナダ（リッツ農務食品大臣）との会談

- ① WTOに関し、それぞれの国の立場を尊重しつつ協力していくことが重要であるとの点で一致。
- ② カナダ産牛肉に関し、先方からOIE基準に即した技術的協議を続けていきたいとの要請があったのに対し、我が国からは国民の食の安全を大前提に科学的知見に基づき対応していくと発言。

(5) モロッコ（アフヌッシュ農業水産大臣）との会談

先方から、日本の技術協力に対して謝辞が述べられ、今後とも漁業をはじめとする様々な分野で両国が協力していくことで一致。

(6) FAO（ディウフ事務局長）との会談

FAOの役割とその改革の進め方について意見交換した。特に、我が国の厳しい財政事情の下では、FAO予算の大幅な増額には賛同できず、事業の対象を重要な問題に絞り込むべきであることを主張。また、日本人職員の更なる登用につき要請。

(以上)